

令和3年9月23日

宮古島市議会議員選挙立候補予定者への公開質問状

宮古島市市議会議員選挙立候補予定者各位

宮古島地下水研究会

共同代表 前里和洋 新城竜一 友利直樹

この度、宮古島市議会議員選挙への立候補予定者の皆さんには、その熱意と姿勢に敬意を表します。

私たち「宮古島地下水研究会」は、“持続可能な地下水の保全と利用及び地下水の健康影響”を研究する目的で、医療関係者、農業従事者、地質学及び土壌肥料学を専門とする者を中心に2018年に設立しました。宮古島の地下水は唯一かつ公共の水資源であり「命の水」です。地球規模の温暖化は宮古島も例外ではありません。超大型台風の襲来や記録的大雨や大干ばつ・水不足等自然の猛威に晒される可能性があります。さらに、急激な観光客増加や乱立する大型リゾート開発、大規模自衛隊施設配備等いまだ経験したことのない社会環境の激変があります。多数の大規模ゴルフリゾート等の施設からは、golferや宿泊客、従業員を含めると数千人単位の町一つに相当する生活排水が排出されます。更に芝地には、耕作地に相当する量の化学肥料や農薬が使用されます。自衛隊駐屯地からも千数百人と一つの村に相当する生活排水や種々の環境化学物質が排出されます。これらの施設の大部分は、宮古島市地下水保全条例の水道水源保全地域外に立地しており、条例による監視や規制が及びません。更に、下水道整備地区外であり、排水は通常型合併浄化槽等で処理されます。生活排水や化学肥料由来の硝酸性窒素はもちろん、有害な鉛などの重金属や種々の環境化学物質も除去できません。有害物質を含む処理水は直接的ないし間接的に地下水に浸透していく可能性が高いのです。宮古島は地下ダムによる農業用水の確保により、県下でも有数の農作物生産地になっています。一方、病害虫多発に伴い化学農薬の使用量が増加し、EUで健康影響が懸念されているネオニコチノイド系殺虫剤等が、県下で最も多く使用されています。

私たちの調査で、微量ながら8か所の地下水でネオニコチノイド系農薬成分が検出されています。地下ダム止水壁は、自然の水循環による浄化や希釈作用の妨げとなっている可能性があります。環境化学物質が、持続的に地下水へ濃縮・蓄積する可能性があり、目に見えない地下水複合汚染という人為的な脅威が現実的に迫っています。

【持続可能な島づくりの取り組み】の根幹は、唯一の水資源である地下水の持続可能な保全と利用です。特に、人為的影響を受ける水質保全は最重要課題です。「持続可能な地下水保全と利用そして市民や将来世代の健康」を実現するための一助として、市議会議員選挙立候補予定者各位に公開質問状を送付します。市民が憂慮しているこの問題点に対するお考えを明確にして頂き、立候補予定者各位の考えを広く市民に知らしめるのが目的です。ご多忙とは存じますが、10月2日まで封書又はFAX、E-mailでご回答をお願いします。回答内容については報道関係への公表とインターネットでの公開も予定しています。又、無回答の場合はお名前とともに、「回答なし」と記載させていただきます。

- 回答締切： FAX・E-mailの場合 2021年10月2日18時迄、郵送の場合10月2日消印有効
- 回答送付先： FAXの場合 0980-72-9860 E-mailの場合 qqh47349k@rondo.ocn.ne.jp
- 郵送の場合：〒906-0012 宮古島市平良字西里 675-3 平良雅則 (同封の封筒をご利用下さい。)
- お問い合わせ：「宮古島地下水研究会」事務局(平良) 0980-72-9860
- 当会ウェブサイト：<http://miyakojima-tikasui.com>



【公開質問状】

以下の質問事項に対し該当する箇所に○をつけていただき、その理由やご意見をお書き下さい。

1. 下水道未整備地区や水道水源保全地域外に立地する、大型ゴルフリゾート施設から大量の生活排水が排出されます。自衛隊駐屯地からは、微量ながら鉛などの重金属や界面活性剤や油脂等の多数の環境化学物質を含む処理水が放出されます。現在使用している排水処理では、これらの物質は完全には除去できません。地下ダム群止水壁は、自然の水循環を妨げており、これらの**環境化学物質が帯水層に濃縮・蓄積する可能性**があります。地下水複合汚染のリスクになると考えますか。

なる ・ ならない ・ わからない

理由・意見：

2. 宮古島市の農薬や化学肥料の使用量は、県内の他市町村と比べて非常に高いです。これらは、耕作地のみならずゴルフリゾートの芝地にも使用されます。これらは地下へ浸透し、地下水複合汚染のリスクとなり健康に影響を与える可能性があります。宮古島市での**農薬や化学肥料の使用の実態調査と市民への情報公開**が早急に必要です。

賛成 ・ 反対 ・ わからない

理由・意見：

3. 家畜排せつ物法により、家畜し尿は堆肥盤の設置等での適正な処理が求められています。不適正な処理は、地下水の硝酸性窒素濃度の増加の一因となっています。早急に**適正処理の実態調査と市民への情報公開**が必要です。

必要 ・ 必要ない ・ わからない

理由・意見：

4. 大雨時には、仲原地下ダム高水対策用付属施設である地下排水トンネルから地下ダムに貯留しきれない地下水が白川田流域の宮原農業用排水路に排出されます。この**排出される地下水による、水道水源である白川田流域の地下水汚染への影響やリスク**をどう考えますか？

影響する ・ 影響しない ・ わからない

理由・意見

5. 大量に生活排水処理水を排出する大型施設は、現行の条例では排出水の水質監視・管理が十分できません。また、使用量が急激に伸びているネオニコチノイド系農薬の地下水濃度はモニタリング測定項目に含まれていません。一方で、使用量が年々減少している有機リン系農薬を毎年測定しています。このように、健康に影響する環境化学物質の地下水モニタリング調査は、十分ではありません。**ネオニコチノイド系農薬や自衛隊駐屯地近傍での鉛を測定項目に加える**必要があります。

賛成 ・ 反対 ・ わからない

理由・意見：

6. 地下水汚染は目に見えません。また、地下水汚染の健康への影響は数年～数十年単位で後から出てくる可能性があります。予防原則にのっとり、**健康に影響する環境化学物質の適正な地下水モニタリング体制の構築と削減対策を地下水保全条例に明記することが必要**です。

賛成 ・ 反対 ・ 保留

理由・意見：

7. 水道水源保全地区や下水道未整備地区に立地し、環境汚染物質を含む処理水排出により地下水汚染リスクの高い大規模施設の規制・監視は、現行の条例では不十分です。**条例の改定により排水水質の監視や高度処理合併浄化槽設置の義務化**を検討する必要がある。

現行で十分である ・ 改正の必要がある ・ わからない

理由・意見

8. 私達地下水研究会は、本年2月、「持続可能な地下水の保全と利用」の為に、第4次地下水利用基本計画で水道水源保全地域を「宮古島市全域」に広げることを市長に提案しました。地下水複合汚染を予防する為には、市全域の規制や監視の強化が必要です。しかし、6月の市議会で可決された「第4次地下水利用基本計画」では、水道水源保全地域は、従来の3か所に加え平良流域の一部を追加しただけです。いまだに限定されたままです。宮古島の社会環境の激変を考慮して、**水道水源保全地域を「宮古島市全域」に広げる**ことについて、どう考えますか。

賛成 ・ 反対 ・ 保留

理由・意見：

9. 「持続可能な地下水の保全と利用」を実現する為には、水循環基本法に基づき、市民、行政等地下水に関するステークホルダーが一堂に会する「地下水循環協議会」を設置すべきです。法的拘束力を有しステークホルダーが協働管理に参加する地下水ガバナンスが必要です。現在の地下水審議会は市長の諮問機関です。「地下水審議会」と「地下水循環協議会」を比較し、将来的に「**地下水循環協議会**」設置に向けて検討を行う必要があります。

賛成 ・ 反対 ・ 保留

理由・意見：

【別紙】

【公開質問状】

宮古島市市議会議員選挙立候補予定者：

1. 下水道未整備地区や水道水源保全地域外に立地する、大型ゴルフリゾート施設から大量の生活排水が排出されます。自衛隊駐屯地からは、微量ながら鉛などの重金属や界面活性剤や油脂等の多数の環境化学物質を含む処理水が放出されます。現在使用している排水処理では、これらの物質は完全には除去できません。地下ダム群止水壁は、自然の水循環を妨げており、これらの**環境化学物質が帯水層に濃縮・蓄積する可能性**があります。地下水複合汚染のリスクになると考えますか。

なる ・ ならない ・ わからない

理由・意見：

2. 宮古島市の農薬や化学肥料の使用量は、県内の他市町村と比べて非常に高いです。これらは、耕作地のみならずゴルフリゾートの芝地にも使用されます。これらは地下へ浸透し、地下水複合汚染のリスクとなり健康に影響を与える可能性があります。宮古島市での**農薬や化学肥料の使用の実態調査と市民への情報公開**が早急に必要です。

賛成 ・ 反対 ・ わからない

理由・意見：

3. 家畜排せつ物法により、家畜し尿は堆肥盤の設置等での適正な処理が求められています。不適正な処理は、地下水の硝酸性窒素濃度の増加の一因となっています。早急に**適正処理の実態調査と市民への情報公開**が必要です。

必要 ・ 必要ない ・ わからない

理由・意見：

4. 大雨時には、仲原地下ダム高水対策用付属施設である地下排水トンネルから地下ダムに貯留しきれない地下水が白川田流域の宮原農業用排水路に排出されます。この**排出される地下水による、水道水源である白川田流域の地下水汚染への影響やリスク**をどう考えますか？

影響する ・ 影響しない ・ わからない

理由・意見

5. 大量に生活排水処理水を排出する大型施設は、現行の条例では排出水の水質監視・管理が十分できません。また、使用量が急激に伸びているネオニコチノイド系農薬の地下水濃度はモニタリング測定項目に含まれていません。一方で、使用量が年々減少している有機リン系農薬を毎年測定しています。このように、健康に影響する環境化学物質の地下水モニタリング調査は、十分ではありません。**ネオニコチノイド系農薬や自衛隊駐屯地近傍での鉛を測定項目に加える**必要があります。

賛成 ・ 反対 ・ わからない

理由・意見：

6. 地下水汚染は目に見えません。また、地下水汚染の健康への影響は数年～数十年単位で後から出てくる可能性があります。予防原則にのっとり、**健康に影響する環境化学物質の適正な地下水モニタリング体制の構築と削減対策を地下水保全条例に明記することが必要**です。

賛成 ・ 反対 ・ 保留

理由・意見：

7. 水道水源保全地区や下水道未整備地区に立地し、環境汚染物質を含む処理水排出により地下水汚染リスクの高い大規模施設の規制・監視は、現行の条例では不十分です。**条例の改定により排水水質の監視や高度処理合併浄化槽設置の義務化**を検討する必要がある。

現行で十分である ・ 改正の必要がある ・ わからない

理由・意見

8. 私達地下水研究会は、本年2月、「持続可能な地下水の保全と利用」の為に、第4次地下水利用基本計画で水道水源保全地域を「宮古島市全域」に広げることを市長に提案しました。地下水複合汚染を予防する為には、市全域の規制や監視の強化が必要です。しかし、6月の市議会で可決された「第4次地下水利用基本計画」では、水道水源保全地域は、従来の3か所に加え平良流域の一部を追加しただけです。いまだに限定されたままです。宮古島の社会環境の激変を考慮して、**水道水源保全地域を「宮古島市全域」に広げる**ことについて、どう考えますか。

賛成 ・ 反対 ・ 保留

理由・意見：

9. 「持続可能な地下水の保全と利用」を実現する為には、水循環基本法に基づき、市民、行政等地下水に係るステークホルダーが一堂に会する「地下水循環協議会」を設置すべきです。法的拘束力を有しステークホルダーが協働管理に参加する地下水ガバナンスが必要です。現在の地下水審議会は市長の諮問機関です。「地下水審議会」と「地下水循環協議会」を比較し、将来的に「**地下水循環協議会**」設置に向けて検討を行う必要があります。

賛成 ・ 反対 ・ 保留

理由・意見：